

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

評価日 30年 3月 6日

団体名	草友会		
事業名	美笹ハンノキ自然園復活活用事業		
対象経費	58,326円	支援金額	29,000円

事業の目的・内容	目的 <事業の目的> 廃園となった美笹湿原を復活させ市民に利用してもらい、佐久市民の自然への関心を深め、合わせて自然の保全をする。 今回の申請は、植物銘板(約200枚)の取り付けと木道修繕費用です。これで銘板の取り付けはほぼ終了で、後は都度追加となります。銘板の寿命は不明ですが、5年間とみています。
	内容 <事業の内容> 平成29年度事業 1) 歩道および木道の保全 2) 植生調査 3) 植物銘板の設計および取り付け 4) 観察会の実施 5) トイレ清掃

事業の活動実績	1) 歩道および木道保全 今年の木道整備は、木道全域にわたってすべり止めの板を約1200本取り付けました。また、傾斜の激しい木道約15m程を水平に修復しました。残るは傾斜のゆるい15m程を平成30年度に完成します。観察道は草刈りと風倒木の除去と落ち葉の除去で、安心して観察できるようになりました。2) 植生調査 園内全体の調査が終わり、園内の植物を確定することにしました。また、定点観測に切り替え、植生の変化を調査中です。植物名は会員並びに観察会で配布しました。そのた、随時植物写真を撮っています。3) 植物銘板の設計および取り付け 銘板をカラーコピーし耐候性を改善し、併せて、銘板支柱をアルミ板に、木類の銘板をベニヤ板で裏打ちし寿命を延ばしました。4) 観察会の実施 雨のためサクラソウを目的とした観察会(5月3日は雨のため中止、ベニバナイチヤクソウの観察会を参加者44名で6月3日に行われた。5) トイレ掃除 今年から手洗い用の水道が入り掃除しやすくなる、随時実施しました。そのた、ウバユリ鹿害対策として、猟友会の協力、支柱による囲み、ミカン網等種々実験したが、最終的に網で囲う事で鹿害は解決の見込みです。
---------	---



事業の成果・効果	1) 木道のすべり止め、木道の傾き改善により、一段と安全に通れるようになりました。残るは木道約15mの傾斜の修繕を平成30年に実施します。観察道として復路を設置しましたが湿地の場所が多く、安全に通るには木道の設置が将来必要となります。 2) 植物銘板は、カラーコピー化で一段と耐候性が増し、園の美観化に役立っています。 3) 一般への利用促進のために、観察会を実施したところ、44名の多くの方が参加されました。関心の高さが伺われます。平成30年度は草友会として、観察会を実施します。4) 申請外ですが、観察道の草刈りを2回実施しました。 園の利用人数を把握するには、入り口にカウンターなどが今後必要となりましょう。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	助成費の多くは設備として残り、後年の利用が可能です。一年限りの投資ではありません。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	園としてのおおよその形が出来上がりました。後は園らしく、銘板の美観、園の説明書(来園者に配布)、案内書が必要になります。広報としては、観察会の実施、新聞テレビへの公開、学校等への推薦、園の出入り口の看板改善、市での観光案内があります。逐次実施してまいります。
---------	---